

Time travel in MIYOSHI

三好 歴史をたどる旅

第11話 「商業の発展」

第9話・第10話では、それぞれ三好町の工業と農業における発展の歴史を紹介しました。ちょうど同じころ、町内ではどのような商業活動が展開されていたのでしょうか。今回は三好町の商業の発展と、商業活性化の役割を担っている三好町商工会の変せんを紹介します。

戦前までの商業

江戸時代中期の古文書によると三好村は、紺屋(染物屋)と大工が各一軒、ほかには油やみそなどを売るわずかな商人がいるだけで、農業に必要なくわや鎌を売る鍛冶屋は春秋の年2回来るのみ。猿回しなどの娯楽の店もなく、医者もいない純農村でした。その後明治時代に入っても、村には特産物がなく、また交通の便も良くなかったことから商業発展の歩みは遅く、大正時代初期ごろまでは目立った発展は見られませんでした。そんな中、大正7年ごろの好景気を機に町民の生活が向上。市場に出る販売品も多くなり、売上高も増加するなど、徐々に商業活動が盛んになってきたのです。



昭和59年第1回商工まつりでのパレード



現在の三好町の商業中心地

戦後以降の商業発展

昭和20年代後半になると毎年良品が増産されるようになり、町民の収入も増加して購買力が上がったことから、商店が次々と営業を開始。衣料や食料のみならず農耕具、家庭用品などさまざまな種類の商品を販売し始め、商業活動は目覚ましく発展しました。また昭和30年代後半には、全国各地で大型スーパーが開店。三好町でも、昭和45年9月に三好ショッピングセンター、49年3月に三好サンブラザなど、大型店舗がオープンしました。さらに昭和43年の東名高速道路の開通や54年の名鉄豊田線の開通、そして平成5年の東名三好インターチェンジの開通など、町の整備・発展により人口も急激に増加。これに伴い商店数も増え、平成12年10月にはアイ・モール三好、ジャスコ三好店がオープンするなど、三好町の商業はますます発展しています。

三好町商工会の設立

町の商業を影で支えてきた三好町商工会は昭和10年、三好村内の事業者が、お互いの親ほくと提携を図るため自主的に会を結成したのが始まりです。その後、昭和35年に制定された商工会法に基づき翌年4月、愛知県知事の認可を受けて発足しました。会では、経営に関する指導あつせんをはじめ、毎年秋に三好町が主催する産業フェスタでの商工まつりの開催や、三好池まつりなどの観光事業を共催するなど、地域に根差した商業振興を目的に、現在も活動を続けています。

歴史

おめでとう おたんじょうび 6月

「いつも元気いっしょだよ!」

天気の良い日は、お気に入りの帽子をかぶって外で遊ぶひなちゃん。新菜お姉ちゃんと一緒に歌ったり踊ったり、いつも元気いっしょだよ。一人で着替えが出来るひなちゃんに「小さなこどもでも、幸せな感じにいらねえやうなよ」なんてほっこりとお母さん。

浅野 日向子ちゃん(三好丘旭)

父・豊美さん 母・睦子さん 平成14年の月10日生



「体を動かすことが大好き!」

毎週月曜日に体操教室に通うひなちゃんは体を動かすことが大好き。マット運動や平均台、鉄棒など何でもできちゃうよ。小さいじゅんじゅんを使用中庭のお花の水やりができるひなちゃんに「お友達と仲良く遊べるやうな、優しいお母さん」とお母さん。

河村 律輝くん(打越)

父・昇さん 母・恭子さん 平成13年の月15日生



出場者募集中

- 【8月のお誕生日コーナー】
●応募期間＝7月1日から5日まで
●対象＝8月生まれで3歳未満の児
●応募方法＝広報情報課へ電話で
☎(32) 83357
※6月の応募は、8人でした。

広報クイズ

矢印の方向に熟語のしりとりになるように、□から①～④に当てはまる漢字を選び、残った2つの漢字でできる熟語を答えてください。



【応募方法】(答え)(例本文)・郵便番号・住所・氏名・電話番号・年齢を記入し、はがき、ファクス、または電子メールで広報情報課へお送りください。正解者の中から抽選で10人に、図書券500円分をプレゼントします。

【あこ先・送信先】
・はがき...〒470-0205
三好町役場広報情報課(住所の記入不要)
・ファクス...☎(32) 2105
・電子メール...kohocho@town.miyoshi.aichi.jp
【締め切り】6月11日(金)必着
【5月10日の正解と当選者】1から10までの数字を英語にしたときの頭文字で①...E②...N(全40通正解38通)岡田優志、岡本昌大、鈴木真優、長岡明子、中嶋茂、西田奨、野々山幸子、平井康夫、本田耕二、八島悠太(敬称略)
【アイデア・企画】広報で紹介するいろいろなアイデアなどありましたら広報情報課へお知らせください。